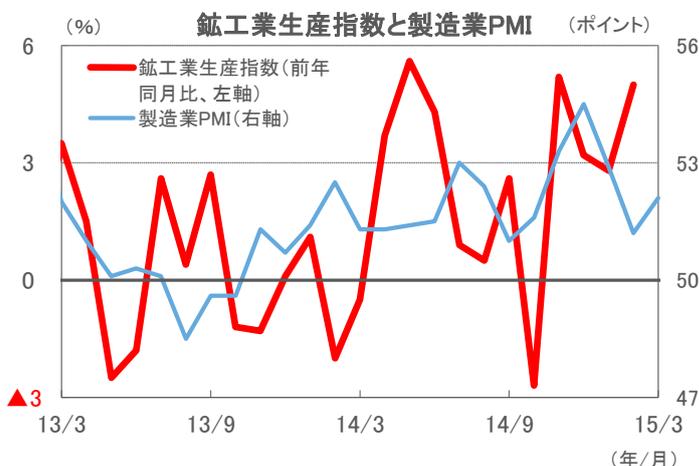


今日のトピック 最近の指標から見るインド経済(2015年4月) 利下げや投資拡大が景気を支える見込み

ポイント1 生産は拡大基調 企業心理が良好、投資拡大に期待

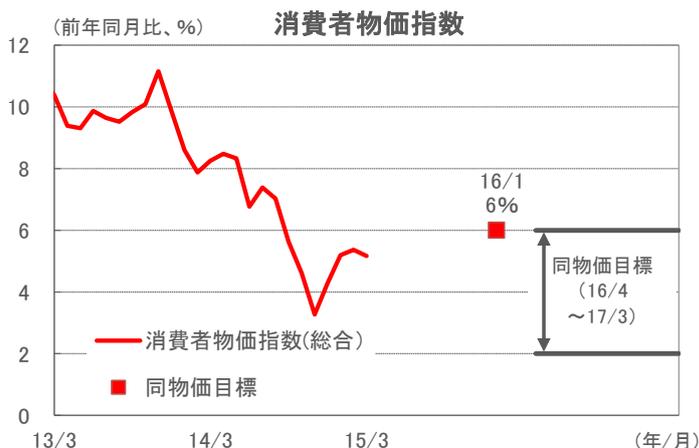
- 2月の鉱工業生産指数は、前年同月比+5.0%と、前月の同+2.8%から上昇しました。昨年11月以来、4カ月連続のプラスとなりました。内訳を見ると、資本財が同+8.8%と、高い伸びになりました。
- 3月の製造業PMIは52.1と、前月の51.2から持ち直しました。原油安による企業のコスト低下、インド準備銀行(中央銀行、RBI)による利下げ、モディ政権の構造改革などを背景に企業心理は良好といえ、投資が景気の拡大を支えそうです。



(注) 鉱工業生産指数は2013年3月～2015年2月。
製造業PMIは2013年3月～2015年3月。
(出所) Bloomberg L.P.のデータを基に三井住友アセットマネジメント作成

ポイント2 物価は落ち着いた推移 追加利下げ観測が強まる

- 3月の消費者物価指数は、前年同月比+5.17%と前月の同+5.37%から低下しました。食品・飲料(全体の約46%)の上昇率が前月から低下し、全体を押し下げました。今年のモンスーンシーズン(6月から9月)は十分な降雨が見込まれています。野菜など食品価格の安定から、物価は落ち着いた推移が当面続くと思われます。
- RBIは、4月7日の会合で政策金利(レポレート)を7.50%に据え置きました。RBIは1月と3月に臨時会合を開催し、0.25%ずつ利下げを実施しており、今後も物価動向次第で機動的に利下げを実施し、景気を下支えする姿勢です。物価の落ち着いた推移が見込まれるなか、追加利下げ観測が強まっています。



(注) データ期間は2013年3月～2015年3月。
物価目標はインド準備銀行(RBI)による。
(出所) Bloomberg L.P.、RBIのデータを基に三井住友アセットマネジメント作成

今後の展開 追加利下げによる景気下支え、外資の投資拡大による成長底上げに期待

- モディ首相は今月、フランス、ドイツ、カナダを訪問し、製造業の誘致などを働きかけました。利下げによる景気下支えに加え、投資の拡大による中長期的な成長の底上げも期待されます。
- インドでは、5月8日までの予定で国会会期中です。物品・サービス税(GST)や土地収用法などの法案が成立する場合、構造改革が前進する期待が強まるため、審議の動向が注目されます。

ここもチェック! 2015年04月15日 モディ首相がフランス、ドイツを訪問(インド)
2015年04月08日 インド中銀、政策金利を据え置き

■当資料は、情報提供を目的として、三井住友アセットマネジメントが作成したものです。特定の投資信託、生命保険、株式、債券等の売買を推奨・勧誘するものではありません。■当資料に基づいて取られた投資行動の結果については、当社は責任を負いません。■当資料の内容は作成基準日現在のものであり、将来予告なく変更されることがあります。■当資料に市場環境等についてのデータ・分析等が含まれる場合、それらは過去の実績及び将来の予想であり、今後の市場環境等を保証するものではありません。■当資料は当社が信頼性が高いと判断した情報等に基づき作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。■当資料にインデックス・統計資料等が記載される場合、それらの知的所有権その他の権利は、その発行者および許諾者に帰属します。■当資料に掲載されている写真がある場合、写真はイメージであり、本文とは関係ない場合があります。